

第1年次**組 芸術科(書道)学習指導案				
平成30年*月*日(*)第*校時 書道室 指導者 田島 香奈子				
単元名	行書の学習「風信帖」鑑賞			
単元目標	<p>○書くこと、見ることの楽しさを感じながら、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。(書への関心・意欲・態度)</p> <p>○「風信帖」の美とその技法を学び、気脈や連綿のある表現を工夫することができる。(書表現の構想と工夫)</p> <p>○行書における字形の構成や全体の構成の要素を理解し、基本的な書表現の技法を身に付け表すことができる。(創造的な書表現の技能)</p> <p>○見ることを楽しみ、書よさや美しさを感じ取るることができる。(鑑賞の能力)</p>			
単元の評価規準	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
	古典に関心を持って、意欲的に鑑賞・表現の両活動に取り組もうとしている。	古典の美とその技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。	字形の構成や全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。	字形・調和・性情などの要素を認識し、古典の持つ多様な美を感じ取っている。
題材(教材)	教科書、模造紙、付箋紙、直感的鑑賞シート			
単元(教材)について	<p>(1)生徒観：前期に楷書の学習を済ませ、前時に「蘭亭序」の学習をしている。楷書の学習では、表現として、初唐の三大家の各古典を半紙に二字臨書し、基本的な点画や線質の表し方、用筆・運筆の技法、字形の構成等は意識し、表現することができた。鑑賞では、北魏時代と唐時代の六つの古典を鑑賞し、書風の違いを感じ取るすることができた。個人の活動は熱心に黙々と取り組む生徒が多い反面、グループ活動になると活発な意見交流を持つことができないのが課題である。</p> <p>(2)教材観：既習の古典はすべて中国のものだったが、初めて日本の古典を扱う。また、中学校で学習した空海が最澄に宛てて書いた手紙であるため、生徒の興味・関心を引きやすく、書を愛好する心情を育てることにつながると考える。さらにKJ法を用いて鑑賞することにより、書を表現・鑑賞する上で大切な要素を認識できるようになり、古典における書の美しさを感じ取る能力が育つ。</p> <p>(3)指導観：生徒が持つ第一印象を大切にしながら、書を表現・鑑賞する際に役立つ要素を認識できるようにするためKJ法を用いる。さらに、臨書をした上で直感的鑑賞シートを用いて要素ごとに自分の意見を書き分け、古典の特徴を整理する。また、古典のよさや美しさを感じ取ることができたか教師が確認するため、鑑賞文を書く。</p>			
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価	
	1 KJ法について理解し、それを用いた鑑賞を行う。 (1) 古典を鑑賞し、気づいたことや感じたことを付箋紙に書く。 (2) グループで一人ずつ発表する。 (3) 全員の意見をもとに分類化する。	2 グループで協議しながら、模造紙にまとめる。	3 発表会をする。	4～6 古典の冒頭「風信雲書」を臨書する。
				<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく多くの特徴を見いだそうとしている。(関心・意欲・態度) ・多角的に古典を鑑賞し、その魅力や特徴を見いだしている。(鑑賞の能力) ・グループのメンバーと話し合い、協力しながら意見の分類をしようとしている。(関心・意欲・態度) ・他者の発表を聞きながら鑑賞・評価しようとしている。(関心・意欲・態度) ・古典の美とその技法を学び、気脈や連綿のある表現を工夫している。(書表現の構想と工夫) ・字形の構成や全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。(創造的な書表現の技能) ・字形・調和・性情などの要素を認識し、古典の持つ多様な美を感じ取っている。(鑑賞の能力)

本 時 案 (第8次の第1時)

<p>本時の目標</p>	<p>○K J法について理解し,なるべく多くの特徴を見いだそうとする。 (関心・意欲・態度) ○他者の意見を聞きながら多角的に古典を鑑賞し,多様な書之美を感じ取り,鑑賞と表現の主な要素を理解する。 (鑑賞の能力)</p>	
<p>学習活動</p>	<p>指導上の配慮事項など</p>	<p>評価・方法など</p>
<p>1 前時までの学習について振り返り,本時の学習活動について確認する。</p>	<p>○「情報の科学」の授業で学んだ意見を出しやすくするための手法(ブレインストーミングやK J法)について触れる。</p>	
<p>他者の意見を聞きながら多角的に古典を鑑賞し,多様な書之美を感じ取り,鑑賞と表現の主な要素を理解する。</p>		
<p>2 K J法による鑑賞</p> <p>(1) K J法の具体的な方法について知る。</p> <p>(2) 古典を鑑賞し,気づいたことや感じたことを付箋紙に書く。</p> <p>(3) グループで一人ずつ発表する。</p> <p>(4) 全員の意見をもとに,意見を付け足しながら模造紙に分類化する。</p>	<p>○グランドルールを設定し,多くの意見が出やすいように配慮する。</p> <p>—グランドルール—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で協力してできるだけたくさんの意見を出す。 ・気づいたことや感じたことであれば何を書いてもよい。 ・他者の意見を聞くときは相づちを打ちながら肯定的に受け入れる。どんな意見も否定しない。 ・途中で意見を追加してもよい。 <p>○タイムスケジュールを貼りだし,生徒に活動時間の目安がわかるようにする。</p> <p>○他者が発表する際に,改めて古典を鑑賞しながら聴くように促す。</p> <p>○意見を分類する際の項目に着目させ,表現や鑑賞をする際に大切な要素がそれであることに気づかせる。</p>	<p>○古典をじっくり鑑賞し,なるべく多くの特徴を見いだそうとしている。 (関心・意欲・態度) <活動の観察> <記述の確認></p> <p>—努力を要する生徒への手立て— 書いている内容を肯定し,抜けている観点を示し,新たな視点で作品を鑑賞できるように促す。</p> <p>○仲間と協力しながら多角的に古典を鑑賞し,多様な書之美を感じ取り,鑑賞と表現の主な要素を理解している。 (鑑賞の能力) <活動の観察> <提出物の確認></p>
<p>3 本時の活動を振り返り,次時の学習について知る。</p>		